科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AT108／演習　E8 (Seminars E8)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	『枕草子』を精読する		
担当者名 (Instructor)	橋本　ゆかり(HASHIMOTO YUKARI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	JAL2310	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

平安時代を代表する作品『枕草子』からいくつかの章段を取り上げ精読することで、平安文学・文化の特質を知る。古典文学の読解の方法を学び、調査・研究した結果を発表する力を養う。

Students will learn about the characteristics of Heian period literature and culture by taking up and closely reading several chapters from Makura no Soshi (The Pillow Book), a representative work of the period. Students will learn methods for reading and interpreting classical literature, and will cultivate the ability to present the findings of their investigations and research.

授業の内容(Course Contents)

『枕草子』を、現在の代表的な注釈書のさまざまな読みを比較検討しながら精読する。初回に『枕草子』について概説し、演習の進め方について説明する。その後、担当者を決め、発表と質疑応答を重ねた授業を行っていく。発表担当者は諸注釈や先行研究を参考にしながら、担当箇所だけでなく、その箇所が作品のなかでどのように位置づけられるのかを考えながら、各自が取り上げる場面の解釈の問題点をあげて、その場面をどう読むのかを報告する。他のテキストや歴史との関わりなど多角的視野から分析調査する。参加者全員のていねいな読解によって、『枕草子』の表現世界に迫る。

＊なお、授業で扱う『枕草子』の章段は、前年度や春学期ではまだ扱っていない新しい章段を扱う。

The class will engage in careful reading of Makura no Soshi, comparing and considering readings of representative modern-day annotations. The first session will present an outline of Makura no Soshi, then explain how the seminar will proceed. Following that, class leaders will be decided, and the class will proceed through presentations and questions and answers. Making reference to annotations and prior research, the presentation leaders will consider not only the parts of the text under their charge but also how those parts are positioned within the work. They will raise problem areas in the interpretation of the scenes they take up, and will report on how to read the scenes. Analysis and investigation will adopt multifaceted standpoints, including relationships with other texts and with history. Through careful reading by all of the participants, the class will approach the world of expression in Makura no Soshi.

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス 『枕草子』概説　発表・調査方法等の指示
2. 発表・調査の方法
3. 担当者による発表と討論 1
4. 担当者による発表と討論2
5. 担当者による発表と討論3
6. 担当者による発表と討論4
7. 担当者による発表と討論5
8. 担当者による発表と討論6
9. 担当者による発表と討論7
10. 担当者による発表と討論8
11. 担当者による発表と討論9
12. 担当者による発表と討論10
13. 担当者による発表と討論11
14. 秋学期まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

『枕草子』全体を読んでおくこと。
各回で扱う章段を事前に下読みし、疑問点などを整理してくること。
発表・レポート作成のための準備は時間がかかるので、できるだけ早く準備を始めること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(50%)/発表(30%)/質疑などへの貢献度(20%)

テキスト(Textbooks)

1. 石田穣二訳注、1979、『新版　枕草子』上、角川ソフィア文庫 (ISBN:9784044026011)
2. 石田穣二訳注、1980、『新版　枕草子』下、角川ソフィア文庫 (ISBN:9784044026028)

ここに示したテキストを推奨するが、『枕草子』原文が付いているものなら特に指定しないので、各自テキストを準備するように。
適宜プリントも配布する。
なお、大学の図書館でジャパンナレッジにより新編日本古典文学全集『枕草子』を見ることができます。
予習復習、発表準備などの際に、大いに活用してください。

参考文献(Readings)

授業時に指示する

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)